

これまでの検討

・第5回協議会までで、各ライフステージの目標、教育内容及び教育方法並びに各教育主体の教育内容及び教育方法を検討

➡ 今回（第6回）は、ガイドラインの策定に向けた骨子案を議論

ガイドライン骨子案（詳細は別紙）

1 はじめに

(1) 自転車を取り巻く情勢

(2) ガイドラインの目的

(3) ガイドラインのポイント

ア 各ライフステージの特性に応じた目標及び教育内容の整理

イ 各教育主体が持つ教育機会に応じた教育内容及び教育方法例の整理

2 教育内容・教育方法

(1) 自転車の交通安全教育の全体像

(2) 各ライフステージを通じて習得する交通ルールの一覧及び解説

(3) 各ライフステージの目標及び教育内容

ア 未就学児

イ 小学生（下学年）

ウ 小学生（上学年）

エ 中学生

オ 高校生

カ 成人

キ 高齢者

(4) 各教育主体の教育内容・教育方法例

ア 販売事業者

イ レンタサイクル・シェアサイクル事業者

ウ 保護者・家族

エ 学校等

オ 雇用主事業者

カ 自治体

キ 交通安全教育を行う民間事業者や地域の団体

3 事例・教材紹介（QRコード掲載）

今後の予定

・第7回協議会（8月下旬～9月上旬） ガイドライン案の検討

・第8回協議会（10月下旬～11月上旬） ガイドラインの策定